

昼と夜の1日2回利用者に“会いに行く”弁当屋 『宅配クック123』 月間利用者数 10万人を突破 全国約350店舗を展開 コロナ禍の暮らしでさらに重視される声掛け、安否確認

高齢者専門宅配弁当サービスを展開する株式会社シニアライフクリエイト（本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋洋）は、宅配弁当サービス『宅配クック123（ワン・ツウ・スリー）』において2020年12月31日時点で、月間利用者数が10万人に達しましたのでお知らせいたします。



食の重要性を伝える地道な活動が実を結び利用者が年々増加

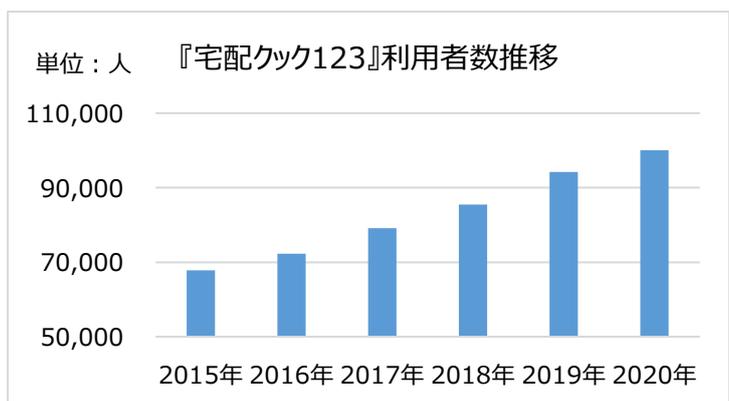
下右表の通り、『宅配クック123』の利用者は、直近5年は前年比約6～10%増と安定して伸びています。2020年のコロナ禍においても、前年比6%以上の利用者増となりました。堅調な伸びの要因は

- ① 地域の交流会に栄養士を派遣し勉強会を開催
- ② 介護福祉施設のケアマネジャーへの低栄養予防訴求活動

などの活動を通じ、「低栄養」「サルコペニア」「フレイル」予防に役立つ知識と対策を広く知ってもらうことで、毎日の食事の重要性を再認識してもらった結果と分析しています。また、利用者向けには会報誌「あはは」にて毎号、1万件以上の栄養相談経験をもとに管理栄養士が、正しい知識とすぐに実績できるアドバイスを載せています。



2020年8月北海道室蘭市で開催したリモート栄養講座



全て12月末時点での利用者数

総務省統計局によれば、総人口に占める高齢者人口の割合の推移は、1950年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985年に10%、2005年に20%を超え、2020年は28.7%となりました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期（1971年～1974年）に生まれた世代が65歳以上となる2040年には、35.3%になると見込まれています[※]。こうした社会背景の下、地道な活動を続け、今後も堅実な伸びを見込んでいます。

※最終頁の参考資料を参照ください

全国約 350 店舗を展開 在宅高齢者への食事提供を兼ねた見守り活動

『宅配クック 123』は全国で約 350 店舗を展開しています。在宅介護を受けている高齢者を中心に、宅配時にはできる限り手渡しによる見守りと安否確認を実施。昼食と夕食の1日2回訪問することで、利用者ど“顔なじみ”となり情報交換や世間話、昔話などができる関係を築くよう努力しています。万が一、お届けの際に異常が発見された場合には、速やかにケアマネジャーやご家族と連動し、安心して暮らすためのサポートも行っています。創業以来、さまざまな市区町村と「高齢者見守り協定」や「包括連携協定」を提携し、より地域に根差したサービスを展開しています。

また、利用者との“顔なじみ”の関係を活かして、特殊詐欺を未然に防ぐ活動に協力したり、熱中症への注意喚起をしたりと高齢者の暮らしを守る“注意喚起”も行っています。コロナ禍の暮らしにおいて、自宅にひきこもりがちになってしまう高齢者も多く、お弁当宅配時の声掛けや何気ない会話から生まれる情報提供などが、より重要になっていると考えます。

【高齢者専門宅配弁当店『宅配クック 123（ワン・ツウ・スリー）』】

『宅配クック 123』では、在宅の高齢者を中心に、宅配時の手渡しによる見守り・安否確認を創業時より実践しています。利用者は、おかずのみ（540円～・税込）とごはんつき（594円～・税込）を選択可能とすることで、ごはんを炊く・よそうといった自分でできることは自分でしていただく形態になっており、高齢者の自立した生活を促しています。食事の内容は全て管理栄養士が監修しており、高齢者の健康に配慮した「普通食」はたんぱく質がしっかり摂れる献立になっています。その他にも「健康ボリューム食」、「やわらか食」、「ムースセット食」、「カロリー・塩分調整食」、「たんぱく・塩分調整食」、「透析食」、「消化にやさしい食」など高齢者の生活や状態に合わせたバラエティー豊かな食事を提供しています。

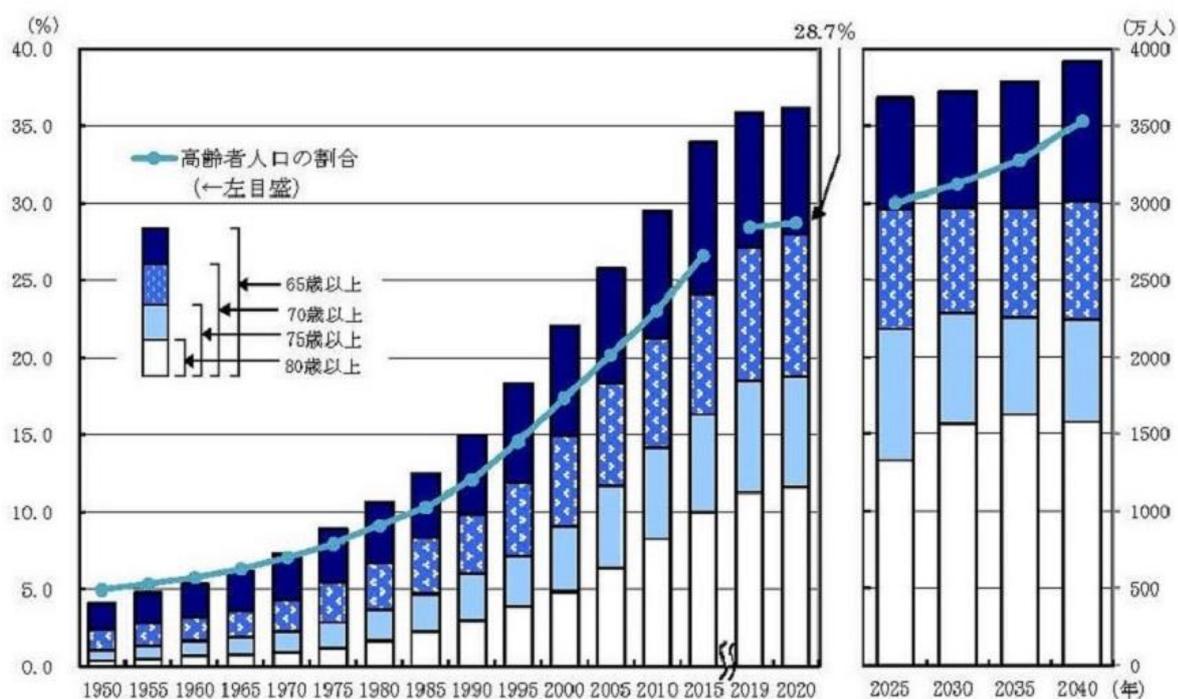


【会社概要】

会社名： 株式会社シニアライフクワイエット
 代表： 代表取締役社長 高橋 洋
 本社： 東京都港区三田 3 丁目 12 番 14 号 ニッテン三田ビル 6F
 TEL. 03-5427-3981
 ホームページ： <http://slc-123.co.jp/>
 設立： 1999 年 12 月
 資本金： 28,000 万円
 事業内容： 1) 高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」フランチャイズ本部の運営
 2) 高齢者施設向食材卸事業「特助くん」の運営
 3) 高齢者向コミュニティサロン「昭和浪漫倶楽部」の運営

参考資料：総務省統計局「統計トピックス No.126 統計からみた我が国の高齢者－「敬老の日」にちなんで－」

図 1 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



<本件に関するお問い合わせ先>

シニアライフクワイエット広報事務局

担当：清水・鈴木

TEL : 03-5427-3985 FAX : 03-5427-3982